



櫻井あき市議 初議会報告会

市内4会場で市民と対話を深める



夕張市議会 第2回定例議会

櫻井あき市議 一般質問内容

6月7日から16日まで第2回定例議会が開催されました。本紙前号で櫻井市議の質問した3件のうちの「夕張高校魅力化について」の概要をお知らせしましたが、今回は残り2件についての概要をお知らせします。

学校給食の無償化を！

1. 学校給食について

現在、道内40市町村が小中学校ともに学校給食の無償化を実現しており、定住や移住の観点からも子育て世代には重要なものと考えるが市長のご所見を伺う。

市長→これまでも物価高騰対応として献立を工夫しコロナウイルス感染症の交付金を財源に対策している。今後子育て政策全体の中で検討したい。

学校トイレに生理用品設置を！ 市長：まず試験的に実施したい

2. 学校トイレへの生理用品設置について

今年度から、すべての道立学校でトイレに生理用品を置くことがスタート。市長予定候補への公開質問状において「生理用品の学校トイレの配備は、令和5年度に設置すべく対応したい」との回答があったことから、いつから、どのように行うのか、現在の検討状況と今後の対応について伺う。

市長→現在、設置に向けて準備を進めている。まずは試験的に実施し、限られた予算の中で本来購入すべきものに影響がないかなど検討したうえで実施したい。

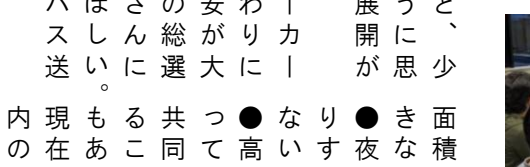
6月23日から30日まで、りすた(昼・夜)恵集会所・紅葉山新生クラブで「櫻井あき市議会報告会」が開催され、のべ45人の市民が参加。議会報告の後、意見や感想を交流しました。

●自治体格差を広げないという意味でも、対応してほし



●市外への交通問題で、10月1日から1日4便、夕

●マイナンバーカードを保険証代わりにするの不安が大



●鹿、アライグマ、熊対策をもっとして



●高校問題で、そこまでする質問・提案し



給食費の無償化は国主導で。今議会の「給食費無償化の意見書」の採択を賞賛したい。

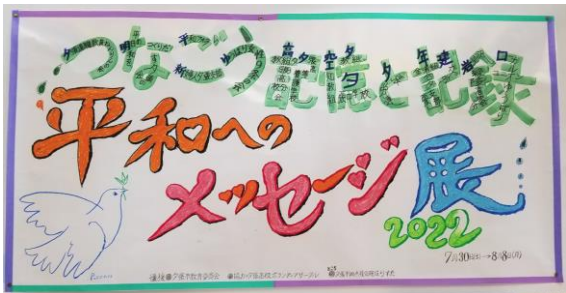
●生理用品、わずかな予算でできるはず。大事なことは即決できる市長であってほしい。

●ハイヤーに18時以降も乗れるように。



●鹿、アライグマ、熊対策をもっとして

●市外への交通問題で、10月1日から1日4便、夕



昨年2022年の「平和展」の様子

つなごう記憶と記録 平和へのメッセージ展2023 今年7・30〜8・5 「広島高校生の絵」を 中心に

6月9日(金) 旭 実行委員長には、
点複合施設「リすた」 渡辺輝夫(明日の平
で「平和へのメッセ 和をつくりだす夕張
ージ展2023」実 の会共同代表・キリ
行委員会が開かれま スト教夕張教会)さ
した。 さんが選出されました。
市内の平和団体や 今回は広島島の基町
教職員組合などを中 高校の生徒が、被爆
心に、開催されて4 者との交流を通じて、
回目を迎える同平和 被爆者のみなさんと
展は、市教育委員会の 一緒に描いた
後援も得て、平和へ 絵画20点を中心に、
の思いを次世代へ語 7月30日から8月
り継いでいくことを 3日の5日間、「リす
目的に開催されてい た」で開催されるこ
ます。 とになりました。

参加者のメッセージ



一言一言が一步一步に！更にチャ
レンジですね。激務で大変でしょ
うがお身体に気を付けて。

丁寧な資料作りありがとうございました。



初質問での組み立て最高でした
ね。答弁は全て検討中と逃げている
ように思いました。

自分も疑問に思っていることを
聞いてくれて良かった。
これからも追求してほしい。



新人議員さんとしての報告はとても
新鮮な感じでした。
これからもきめ細かい報告会をよろ
しくお願いいたします。

急に蒸し暑くなってきた夕張、やっと半袖の季節到
来です。そんな中、無事に全4回の議会報告会を終え
ました。
北・南・中央と夜間を合わせて40人以上の方にお越
しいただき大変うれしく思います。
自分の一般質問内容と共に、議会の流れや意見書に
ついて、また、他議員のみなさんの質問もご紹介。
感想や意見の交流では、初めて議会に来たという方
や、今度はぜひ傍聴したいという声も。今後も情報提
供と対話をしながら議会と市民をつないでいきます♪



櫻井あきの
ボカボカ日記
夕張市議会議員 櫻井あき



岩渕 友「国会かけある記」
参議院議員
岩渕 友

汚染水海洋放出許さない

東京電力福島第一原発事故により発生した汚
染水の処理をめぐって緊迫した状況です。
海洋放出の設備が完成し、4日にはIAEA
(国際原子力機関)の事務局長が来日、海洋放出
にかかる審査結果を公表しました。
しかし、IAEAの報告をお墨付きのようにし
て、だから海洋放出していいのだということには
なりません。
政府は福島県の漁業者と「関係者の理解なしに
はいかなる処分もしない」と約束しています。漁
業者はじめ放出に反対する声はあがり続け、その
声は福島にとどまりません。
6月には道漁連会長が経産大臣に会い、「海洋
放出が決行された場合、道産水産物への新たな風
評被害が生じることを漁業者は危惧している」と、
と、海洋放出の中止を求めました。反対の声は全
国にも、海外にも広がっています。
通常国会最終日の本会議質問で、紙議員がこの
問題を質しました。経産大臣は、「廃炉と福島
の復興を実現するために先送りできない課題。関係
者の理解なしには処分を行わないという方針は
守り、風評対策に取り組み」と答弁しました。
公明党の山口代表は放出の時期について、「海
水浴シーズンは避けた方が良い」と言い、東京電
力は、「関係者の理解が必要な条件ではない」と
述べるなど、あまりに無責任です。約束を守ると
いうのであれば海洋放出以外の方法を真剣に検
討すべきです。
これだけの大問題を起こし、なお原発にしがみ
つく。こんな政治を変えましょう。